

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道354号 <small>おおた</small> 太田バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 群馬県
起終点 自：群馬県太田市大字細谷町 至：群馬県太田市大字福沢町		延長 0.7 km
事業概要 一般国道354号は群馬県高崎市を起点とし、埼玉県を経て茨城県鹿島郡大洋村に至る延長206 kmの幹線道路である。太田バイパスは、群馬県高崎市栄町を起点とし同県邑楽郡板倉町板倉に至る「東毛広域幹線道路」の一部であり、現道354号の交通渋滞解消と沿線市街地の生活環境改善を目的としたバイパスである。		
H7年度事業化	S53年度都市計画決定 (H10年度変更)	H9年度用地着手 H13年度工事着手
全体事業費	24億円	事業進捗率 65% 供用済延長 0 km
計画交通量	36,300台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 6.2 (残事業) 31.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 5/25億円 (事業費：4/24億円) (維持管理費：1/1億円)
	総便益 (残事業)/(事業全体) 155/155億円 (走行時間短縮便益：152/152億円) (走行費用減少便益：4/4億円) (交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成16年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保(整備により現道の路線バスの利便性が向上する) ・災害への備え(第2次地震防災緊急事業5箇年計画での位置づけ路線) 他4項目(定量的評価項目を含む)		
関係する地方公共団体等の意見 太田バイパスは、東毛広域幹線道路の一部であり、伊勢崎市をはじめとする関係13市町で構成する広域幹線道路建設促進連絡協議会より早期整備の要望(平成16年11月10日)を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業着手後においても、現道付近の渋滞は解消されていない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地補償交渉が難航したが、現在は、全面的に改良工事に着手できる状況となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 本線にかかる用地買収は平成16年度に完了する見込みであり、来年度は改良工事を促進し、平成17年度の供用開始を目指す。		
施設の構造や工法の変更等		
対応方針		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。